



自立 開拓 共生

横浜市立泉が丘中学校 学校便り

一面

泉中リアル改 11月号

平成30年 11月30日 発行者：学校長 小菅隆司
電話：045(802)8797

<今月は、学校を支えてくれる裏方さん特集。一面は副校長先生に寄稿していただきました。(校長)>

-自分に合った進路選択とは？-

副校長 山崎 裕之

こんにちは。副校長の山崎です。朝晩ずいぶん冷え込んできましたが、みなさんお変わりありませんか？私は毎朝、相鉄線のゆめが丘駅から歩いて通勤していますが、道々に広がる畑の作物にも季節の変化を感じ取ることができます。暑かった頃のトマトやピーマン、なす、きゅうりなどに代わって、今はブロッコリーやカブ、シュンギク（名前は地元の方に教えていただきました）などの秋冬野菜が一面に広がり、鮮やかな緑のグラデーションが通勤の足を心なしか軽くしてくれます。

中間試験が終わり、多くの3年生は進路用の成績が出るのを受けて、これから具体的な進路選択に入っていきます。特に私立高校を受験する場合は、12月の個人面談において、推薦・専願・併願など受験方法の細かい部分も含めて最終決定することになります。自分の夢や目標を実現させるためには、どの学校を選んだらよいのか。数多い私立高校の中から1校を決めるのは中々大変なことでしょう。パンフレットの内容だけでは、分からないことも多いですね。通うとしたら、どれくらい時間がかかるのか。やりたいことのレベルはどの程度なのか。同じ希望の人たちはどれくらい集まるのか。勉強はついていけるのか。お金はどれくらいかかるのだろう…etc。

こうしたたくさんの疑問や不安を一つ一つクリアにしていくことも進路学習だと思います。先生や保護者の方、先輩などの力を借りながら、前に進めていきましょう。あなたが真剣に取り組めば、きっと周囲の人は応援してくれるはずですよ。でも、やはり最後は自分の意志で決めることが大切です。「誰かに勧められたから」という理由では、途中で何か困難なことが起こった時に、人のせいにしてしまう可能性があります。必ず自分の目で確かめて、「自分で決めた」と言えるようにしてください。そうすれば入学後、少々のことがあっても乗り越えていけるはずですよ。

一つ、私の経験談を書かせていただきます。もう40年以上も前の話ですが、中学3年生だった私は、担任の先生からA高校とB高校のどちらを選ぶかと聞かれました。A高校は通学に1時間以上かかりますが、自分の中では最上位の学校、一方B高校は30分もあれば着いてしまう近さで、憧れの噴水のある学校でした。いろいろ悩んだ私は、ある日2つの学校を見に出かけました。そして、運動好きだったこともあり、最終的にグラウンドの広いA高校を受験することに決めました。ところが…

入学してからわかったことで、既に後の祭りなのですが、B高校には私が見たグラウンドの奥に、実はもっと広いグラウンドがあったのです！

もう少し詳しく調べていれば、違った選択をしていたかもしれません。時は戻らないし、自分で決めたことだと自分を納得させました。それにしても、詰めが甘いなあという笑っちゃうお話でした。

3年生に限らず、誰でも何かを選んだり判断したりする場面というのは、日常いたるところで出くわしますよね。「宿題が先か、ゲームが先か」みたいな小さなことなら、うまく事が運ばなかった時の後悔も知れたものですが、「購入する物件はこれでよいか」といった人生にも関わるものだと、それ相応の覚悟も伴ってきてそれはそれは大変です。中学生が家を買うことはありませんが、いずれにしても、大きな決断を下すには、それなりの時間と労力と自分の意志が必要なんですよ。3年生のみなさん、これからいろいろ悩むと思いますが、最後は自分の意志ですよ。意志。



誰もいない校長室<校長コラム>

朝早く、技術員の笹生さんが頭にタオルを巻いて学校の外を清掃しているのを御存知だろうか。「おはようございます」「何かありますか」とご近所に声を掛けながら。「木の葉が家に入ってくるよ」「ボールが飛んで危ないんだけど」「何とかもう少し音量を小さく」…色々な御近所からのご指摘に、丁寧に対応してくれる頼れる男。真に学校の顔。ありがたい。一方、校内。こちら、朝早くから先生が塵取りを持って、清掃を兼ね、校内を巡回。「危ない所はないか」「壊れている所はないか」…以前は、専任の高橋昭先生が一人で。今年から、生徒指導の先生が、交替で見回ってくれている。「子供達の登校前に片付けて、安全にしておきたい」…これも、職員の皆さんの御陰。感謝!!!

百花繚乱 未来に向けて <未来につながる今をご紹介>

学校はいつも変化します。主役の生徒が変わり、また、成長し、世代変わりしていきます。このコーナーは、未来につながる泉中や地域の何気ない「リアル」をご紹介します。

平成30年度 文化発表会

短い準備期間にめげず、全力投球！

体育大会が終わった余韻を味わう暇もなく、翌日からは合唱練習一色！なんとあわただしいことかと思いますが、朝、昼、放課後と限られた練習時間を工夫してみんな一生懸命に練習し、当日を迎えることができました。特に3年生は最後の合唱コンクール。どのクラスも「最後を飾る」素晴らしい合唱でした。中でも3年4組は、永山先生へ想いを伝えたいと意気込み、見事優勝。想いをしっかり届けました！

また、文化発表会のもう一つの目玉である格技場に展示されている生徒の作品達。特に3年生の作品の「あかり」は夜間に通電させると、暗闇の中に浮かび上がり、美しく光ります。勿論、その他どの発表からも半年間の授業の様子を垣間見ることができる素敵な文化発表会になりました。



文化発表会の裏！！

文化発表会の功労者といえば・・・

文化発表会の主役は・・・勿論、生徒全員で作上げたものです。開閉会式を盛り上げた吹奏楽部の部員たち、そしてなにより全体の裏方として準備を進め、活躍した文化発表会実行委委員の皆さんでもあります。そんなたくさんの生徒たちによって素晴らしい当日を迎えることができました。

前日、大勢の観客を期待しながら、皆で準備したシートと椅子。体育館にピシッと並びました。発表用のステージ設営なども、整然として美しくすらあります。格技場に至っては一枚一枚丁寧に染めものを吊るすなど、全ての作品達を見栄え良く飾れるように頑張りました。

文化発表会のために何度も会議を重ね、事前の動画や用具の準備などに力を入れてきた委員長から今回の文化発表会についての感想を聞きました。「文化発表会実行委員長の仕事はたくさんあってバタバタしました。でもやりがいがあって楽しいこともたくさんありました。これから文化発表会実行委員をやってみたいと考えている後輩たちへは、私達を超えて欲しいと思っています。私達よりももっと楽しい文化発表会にしていってほしいです。」と熱いメッセージ。たくさんの泉中生が作り上げてきた文化発表会。この一生懸命な思いもぜひ受け継いで、より素晴らしい文化発表会にしていって欲しいですね。（文責 鳥海）



早坂のココロの声

「皆の作品は文化発表会に展示するよ、保護者の方も地域の方も見るからね」と、1年生に美術の授業で伝えると『それはマズイよ、先生』と言って必死になりだす子、『そんなの関係ないよ、わが道を進みます』と自由に表現を楽しむ子といました。取り組む気持ちは様々ですが、精一杯に取り組んだ作品を展示でき、見てくださった皆さんには本当に感謝しています。



泉が丘中、下和泉小地域合同防災訓練(11/11) (文責:鳥海)

起震車は進度7!!



もう11月だというのに暑いくらいの日曜日。陸上競技部の部員11名と地域合同防災訓練にボランティアとして下和泉小学校へ行きました。それぞれ起震車や煙ハウス、炊き出しなど担当を決め、誘導や補助のお手伝いをさせていただきました。ボランティア、といいつつも生徒たちも起震車に乗せて頂いたり、様々な体験をさせていただきました。

菊込さんは「煙ハウスの担当をさせていただき、良い経験になりました」とのこと。また、防災訓練の委員長秋葉さんから「また来年も」との言葉をいただきました。

同時に、泉が丘中学でも防災訓練が開催されています。こちらは野球部やバドミントン部、保健委員会の生徒も参加しました。イベント参加が中心ですが、食糧等の配布のお手伝いをし、訓練終了後、参加のお礼で、御粥とクラッカー、お水を頂きました。



車いす体験



手際よく!

3年生は照明でサポート!



堂々とした演奏!



四校交流音楽祭(11/17) (文責:鳥海)

四校地域交歓音楽会



いつもありがとう!

ぽかぽかと気持ちのいい日さしの中、泉が丘中学校の体育館にて四校地域交歓音楽会が行われました。しっとりとした伊勢山小PTAの方々の「秋がきた」の合唱を皮切りに四校それぞれの練習の成果が披露されました。

泉が丘中学校からは吹奏楽部の演奏です。3年生が仮引退で抜けた後、初めての公のパフォーマンス。不安をよそに、3年生不在の喪失感を感じさせない見事な演奏でした。音楽会の終了後は、サッカー部、剣道部の部員も加わってくれ、あっという間に片付けが終わりました。学校の関わる行事には、いつも縁の下の力持ち、部活の皆の力があります

鳥海の国 〇〇鳥海コラム

図書室にある5分間の怖い話シリーズの本。読もう読もうと思ってなかなか読めず仕舞い。気が付いたら長期貸し出しとなってしまいました。返却の督促カードが来てもおかしくない長期貸し出し・・・反省してすぐに返却しました。読書の秋と言ってもなかなか難しいですね。

子育てサロン交流会(11/12) (文責:校長)

一年に一回、赤ちゃんが中学校へやってくる。今年も、70人を超える小さな子供達が、「泉が丘中学校 子育てサロン交流会」に来てくれました。今年度から、少しでも長く交流を、と時間を延長して開催されました。



まるでお母さん

中学生も、130人を超える生徒が参加。小さい子供や赤ちゃんの傍にいくと、皆、本当に優しい目になり、笑顔になります。「柔らかいんだよね」と生徒達。来年も大勢来てくださいね。またね。

真剣です



楽しんでる?



マラソン大会(11/6) (文責:早坂)

見守るお母さん方



交通安全協会の方



一斉スタート



選手宣誓



11月6日(火)境川遊水地公園、天候が心配される中、交通安全協会の方、PTAの方、校外委員の方、ボランティアの方々に見守られながら、決行されました。予定では学年ごとにスタートをずらして走るはずでしたが、天気予報では11時ころから雨予報。途中で中止になって走れない生徒が出ないようにと、3学年同時に一斉スタートしました。大人数のため、自分のペースで

走れなかったり、水たまりを避けて走ったりと、授業で練習していたように走れなかった生徒もいたようでした。そんな中でも、諦めずにゴールまで駆け抜けた生徒たち。女子が走っている時は男子が、男子が走っている時は女子が声援を送り、お互いに励ましあいながら走りました。地域の方々に日頃の成果を見てもらえる良い機会となりました

もうすぐ、ゴールだ

